

# 令和5年度 SDGsの実現に向けた教育推進事業

市町名 川島町  
学校名 川島中学校

## 1 育成する能力

- ・ 困難な時代を生き抜く力
- ・ 生涯にわたって能動的に考えられる力

## 2 研究概要

### (1) 取り組む SDGs の目標

第1学年：				第2学年：			
第3学年：							

### (2) 研究主題

困難な時代を生き抜く力を備えた生徒の育成  
～サステナブルな社会の実現に向けた取り組み～

### (3) 研究仮説

現在、世界中において、これまでに経験したことのない多くの課題に直面している。この状態が続くと安定した暮らしが難しくなると言われている。予測困難な時代を生き抜くためには、一人一人が様々な課題を自分事として捉え、向き合い、解決する力を備えられることが求められる。

そこで、これまでの学校教育の成果を生かしながら、学習内容をSDGsの「17の目標」と関連づけた取組を実施する。そのために全教職員が教育活動の工夫・充実、指導力の向上を図り、サステナブルな社会の実現に向けた取り組みを通して、困難な時代を生き抜く力を備えた生徒が育成でき、生涯にわたって、能動的に考えられる力が身につくのではないかと考える。

## 3 企業・団体との連携

### (1) 連携・協働する企業・団体

#### ・出前授業の計画、打合せ、実施

- 1年：ひばりヶ丘特別支援学校 佐藤萌 教諭、豊田真子 教諭、小林清香 教諭
- 2年：川島町役場総務課防災対策室 村田 篤 様
- 3年：埼玉県環境政策課環境アドバイザー 高村裕美 様、
- 3年：埼玉県環境学習応援隊 中央化学 様

#### ・現地学習の計画、打合せ、実施

- 2年：川島町文化財保護審議会会長 菊池健太 様、  
川島町文化財保護審議会委員 馬橋泰雄 様、  
川島町教育委員会 加藤恭平 様、皆川夏彦 様、川島町内事業所12ヶ所

## (2) 連携・協働する主な内容

<p><b>1年生:福祉学習</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ひばりヶ丘特別支援学校職員による出前授業 (障害についての理解・車いす体験・バリアフリーについて)</li></ul> <p><b>2年生:郷土学習・キャリア学習・防災学習</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・かわじま郷土資料展示室にて 川島町文化財保護審議会会長・委員と川島町教育委員会生涯学習課職員による現地学習 (川島町の通史・生活用品・文化財紹介)</li><li>・川島町内12ヶ所の事業所において職場訪問 (川島消防署、環境センター、給食センター、平成の森川島病院 など)</li><li>・川島町役場総務課防災対策室職員による出前授業 (ハザードマップを基に川島町の状況や避難についての重要性・防災備蓄品の展示と紹介)</li></ul> <p><b>3年生:環境学習</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・埼玉県環境政策課環境アドバイザー高村様による出前授業(地球温暖化の実情と原因)</li><li>・埼玉県環境学習応援隊中央化学様による出前授業(プラスチック製品の特徴や環境との関わり)</li></ul>
--

## 4 事業実施概要(学年ごと)

月 日	事業内容	場所	対象
6月29日	ひばりヶ丘特別支援学校による出前授業	川島中学校	1年生
5月31日	川島町教育委員会生涯学習課による川島町の歴史と現状の説明	かわじま郷土資料展示室	2年生
6月28日	川島町内事業所訪問	川島町内事業所	2年生
10月13日	川島町役場総務課防災対策室による出前授業	川島中学校	2年生
5月30日	埼玉県環境アドバイザーによる講義	川島中学校	3年生
6月7日	埼玉県環境学習応援隊中央化学様による講義	川島中学校	3年生

## 5 成果と課題

<p>○ 児童生徒の変容</p> <p>2回のアンケート結果を見ると、生徒たちはSDGsにおいて様々な分野に興味・関心があることがわかる。各学年が取り組んだ項目(1年③/2年⑪/3年⑬~⑮)についての数値は低くなったが、各項目を1年通して学習したことで、他の分野に対する興味が湧いてきているのではないかと考えられる。また、以前は電気を消すように声かけをしていたが、生徒が率先して消すような行動をするなど日頃の生活の中から意識が高まってきている。</p> <p>○ 学校全体の変容</p> <p>「SDGsを意識して、日頃から家族で何らかの活動をしている」の割合が、1回目のアンケートよりも1.5倍増加した。このことは各学年の掲示物の充実、また、学校だよりや学年だよりを通して家庭にも「SDGsに関しての意識」が周知できた成果だと感じる。</p> <p>○ 令和6年度に向けての課題</p> <p>2回目のアンケートでは、全学年で「SDGsへの関心」の割合が減少する結果となった。1年間の活動を通して、SDGsへの取り組みをより身近に感じる事ができたのか、それとも違う理由があるのか等、しっかり分析をする必要があると感じている。その上で次年度は、総合的な学習の時間以外に、委員会活動や教科等での取組に幅を広げ、より深い学びとなるよう、しっかりとした計画を立案していくことが課題となる。</p>
---